

2019年 8月 13日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第9次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	いのりんじゃばん		
団体名称	いのりんジャパン		
代表者職名	代表	ふりがな	いしはら やすひろ
		代表者氏名	石原 靖大
ふりがな	おかやましきたくにしふるまつ		
団体住所	〒		
	岡山市北区西古松		
電話番号		FAX	
設立年もしくは活動年数	2018年7月17日設立		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 3名・無報酬スタッフ _____ 7名・ボランティア等 _____ 700名		
団体HP(あれば)	http://dp11059478.lolipop.jp/inolinjapan/		
FBページ(あれば)	https://www.facebook.com/いのりんジャパン・JAPAN・204477603546345/		
CANPAN登録 (原則必須)	なし ・ あり(星4つ) 【団体ID: 1201951652】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	代表	ふりがな	いしはら やすひろ
		担当者氏名	石原 靖大
郵送物送付先住所	〒		
	岡山市北区西古松		
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN登録	有 ・ なし (予定 月 日頃)
-------------------	--	--------------------	------------------

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	真備町の環境回復・町の再起動を促進する活動
事業概要 (事業内容を簡単に)	真備町内における環境回復、復興支援活動、子育て支援などの活動
活動(予定)期間	2019年 9月 1日 ~ 2019年 11月 30日
活動(予定)場所	倉敷市真備町
受益者数	直接受益者 (200名) 間接受益者 (2000名) ※いる場合
<p>事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか <p>真備町内で野外でのニーズを行政や自治体、個人から依頼されて活動する中で真備に戻ってきて生活再建している人が少数な現状で家を再建出来て帰って来ても家の周辺環境がガラスや陶器などの災害ゴミが散乱していたり、側溝や用水路などがまだ災害時に流入した土砂が堆積している現状の中で町内会はまだ機能せず、行政の対応も追いついていない現状があり、行政・地域・ボランティアで力を合わせて問題解決に取り組む必要がある。そういった中で今後の防災意識を高めること、今後同じような状況が起った時の作業ノウハウを伝えるために現在でもまちづくり推進協議会や地域の方々と共にクリーン作戦のようなイベント型の活動も行っている。通常時の活動や行政、地域との調整にも時間をとり、ニーズの把握、具体的な活動内容の作成を行い、少数から大人数まで現地の状況やボランティア参加のニーズに基づいてマッチングし活動している。</p> <p>昨年携わった学童保育支援の経験を生かし、現状に則した子育て支援活動を平行して随時行っていく。</p> <p>災害復興イベントというかたちから、地元の方が活気づくイベントなどを日本や世界の流行なども取り入れて行っていく。</p> <p>支援する側とされる側という垣根をこえて、共に地域の復興に向かっていくというプロセスを経過し、防災意識の強い個人、地域を建て上げることがゴールとなる。</p>	
<p>事業の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか 	

- ・少人数で家屋の洗浄や床剥ぎなどの活動や野外においての災害ゴミ清掃活動、公園などの復旧活動（週3-6日）
- ・月一回ほどのペースでクリーン作戦を随時地域や他団体との連携の中で実施予定
- ・現在9月28日にフットボールワールドカップにちなんだ復興支援イベントを ENGEAG2019 主催にて随小学校において実施。家族連れでワールドカップの盛り上がり体験していただけるようにワールドカップに出場するチームのレベル3のコーチなども来場予定。小学校や中学校での体験授業やイベントでのラグビー体験、国際交流を中心に、現在の支援の形として無料ですべて提供することよりも少しでも平時に近づけていくことを念頭に置きつつも子どものお小遣いでも十分楽しめるように低価格での屋台出店など各団体と調整を進める。
- ・防災関連イベントを10-11月に企画。内容としては座談会形式で今までの歩みや取り組みから今後にどのようにつなげていくことができるかなどを分かち合い防災意識の向上をはかる。
- ・子育て支援を随時学童保育連絡協議会などと連携しつつ随時行う。
- ・真備の安全パトロール スマートフォンでの撮影にGPS情報が入ることを利用して真備の危険箇所や復旧の必要な箇所を可視化する活動を随時行う。

事業の実施体制

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

作業系取りまとめ 代表 石原靖大

子育て支援とりまとめ 事務局長 石原宣恵

会計 石坂光寛

連携先・倉敷市役所子育て支援課・倉敷市学童連絡協議会・真備支所建設課・真備支所産業課・国土交通省・備中県民局
倉敷市役所教育企画総務課・箭田地区まちづくり推進協議会・真備シェア・災害支援ネットワーク NPO かけはしまごころ届け隊・真備技術支援チーム・スマイリング・倉敷青年会議所など

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

グラウンドや側溝復旧作業、危険リスク調査、家屋の清掃や床剥ぎなど現地ニーズは多岐に渡ります。その中で現在私たちが把握しているものに関してこの事業期間内で終了できるものは30%ほどと予想されます。残ニーズについて今後の継続活動の中で消化していきたい。

現状直接的な寄付金は災害当初と比較してほぼなくなっているような状況となっているが寄付金獲得にも今まで以上にアピールしていきたい。またクラウドファンディングの活用も挑戦したい。

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

実際被災地での活動を一年させていただく中で予想しにくい突発的なニーズが出てくることも多いと感じています。今回助成金申請させていただく上でこちらのももたろう基金は地元目線で様々な相談に乗っていただき心から感謝しております。災害による直接的被害だけでなく、災害があったからこそ必要性が生じる二次被害への支援の必要性も高くなっており、そういったニーズに対してもご相談させて頂きつつ出来る限りサポートしていきたいと考えております。今後共よろしくお願い致します。

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金 (助成申請額)	727,700	
自己資金	272,300	
合 計	1,000,000	

2) 本事業の支出

費 目 (必要な場合算出根拠)	金 額	備 考
人件費 12000 円×40 日	480,000	
燃料代 (車両:軽油・ガソリン・発電機燃料) 月 20000 円×3 ヶ月	60,000	
消耗品 (インク・紙・手袋・コールドスプレー・テープ・筆記用具など)	15,000	
交通費 高速代 岡山～玉島 830 円×30 回	24,900	
交通費 主に大元駅～吉備真備駅 780 円×30 回	46,800	
子育て支援用文房具・玩具・食事材料・茶菓子代など	20000	
災害支援・防災関連イベント講師謝礼	20000	
災害支援・防災関連イベント講師交通費	20000	
チラシ印刷代	7000	
草刈り機一式	34000	
自己資金分		
人件費不足, 福利厚生等助成対象外費目	272,300	
合 計	727,700	

1,000,000

備考欄

--